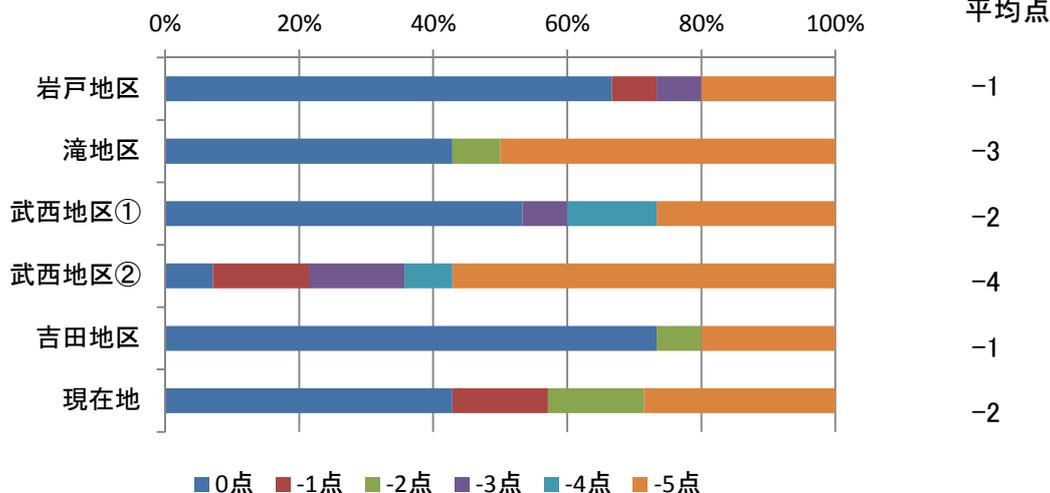


武西地区の応募地は、応募者のご意向により取り下げとなりました。（平成26年6月10日）

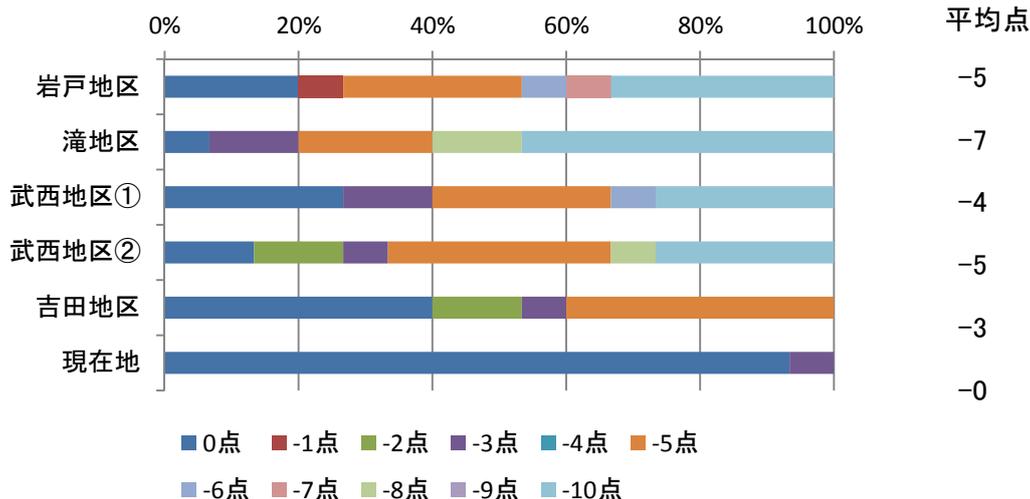
2次審査採点の集計結果

参考資料

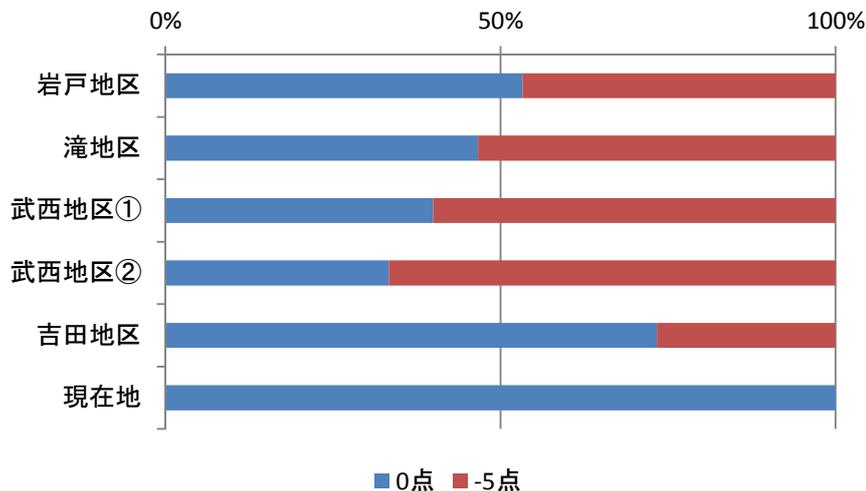
No.6 地域景観への影響



No.7 里地里山の保全



No.8 生物多様性の保全



委員意見集計

No. 6 地域景観への影響

- ・武西地区②は、直近に特別養護老人ホームがあるため、他地域に比べ若干影響が出るのではないかと考えたため-1とした。なお、施設の配置計画により影響を少なくすることは可能ではないか。

- ・現在地は、煙突高の見直しについて意見が出ていたことを踏まえて-1とした。

- ・上記以外の地域は、煙突が見えても景観へ影響を及ぼすことはないと考えて「0」とした。

- ・地域景観：No 1は主要道路など視点場がない。No 3は学習林と一体で、優れた景観を呈する。利用の多い道路からも眺望され、亀成川にも隣接。No 4は緑豊かな台地の一部で、優れた景観を呈し、主要道路ではないものの、他から良く眺望される。No5は主要道路脇で目立つ。No 6眺望される視点場がない。No7は、他から良く眺望されるが、市街化された一角であり、景観に及ぼす影響は少ない。

- ・地域景観への影響についてはどの候補地も最大減点まで必要ないと判断しました。

- ・「地域景観への影響」は、多数の人が集まり、施設や煙突が視野に入りやすい駅や商業地区に近い場合を-5とした。

- ・滝地区は住宅地に近く、景観が大きく変わることの影響を受ける住民は候補地の中では、武西②以外のところでは最も多いと思われます。武西②地区は、目の前に特養があり、道路を挟んで戸建用地が予定されています。学校もあり、景観にとどまらず周辺への影響は大きいと思われますので、-5としました。

No. 7 里地里山の保全

- ・里地里山の保全についてはどの候補地も最大減点まで必要ないと判断しました。
- ・すべて調整区域で里地里山の中にあり、影響はあると思います。どういう配点で評価するか、協議をお願いしたいところです。
- ・地域森林計画対象民有林に係る割合を想定して点数付けを実施。
- ・「里地里山の保全」は、市街化調整区域の里地里山（農林業的土地利用地域）に立地する場合を-5とし、都市的土地利用の市街化区域内を0とした。
- ・里地里山：No1は杉が卓越するも、周囲は落葉樹が多く、里山の雰囲気を保つ。No3は現在では手入れが行き届かず、荒れた部分もあるが、手入れがなされれば、隣接する学習林と同等。No4は杉が卓越するも、周囲の林と一体と見れば、里山として一定の評価をせざるをえない。No5は杉と雑木林が混交し、敷地外の谷津と相俟って、評価が高い。No6は純粋な農地。

No. 8 生物多様性の保全

・現在地以外の地区は森林等であるため、貴重種等の存在の可能性が高いと想定して「-5」とした。

・武西①②とも資料では「重要種」のある戸神地区に隣接します。貴重種と重要種は違うか、どの程度配慮する必要があるかを含め専門の方のご意見をいただきたく思います。吉田地区も滝地区も、数キロメートル範囲で、重要種のある結縁寺、別所があります。どの程度離れていれば影響が軽減されると考えられるかもご意見をいただきたく思います。

・「生物多様性の保全」は、候補地の斜面樹林の保全を条件に、貴重、稀少生物の生息に関わる重要な土地でないと思われることから、すべて0とした。

・生物多様性：No1は谷津にホタルが居そう。イカリソウ、ニオイタチツボスミレが生育。No4はオオタカを高頻度で視認できる地域に近いが、周囲に餌場としての好適地が無いので、本来は、-3とすべき。No5は調査時にオオタカを視認。隣接する谷津は良好な採餌場。オオタカを高頻度で視認できる地域にも近い。